

☆市民活動をFMラジオで発信☆ 『つなげよう！市民のチカラ！』

- 第78回：2021年12月26日（日）
- ゲスト：弘前市町会連合会青少年育成委員会
委員長 川越 俊昭（カグエトシキ）さん



写真：川越さん

○ 放送内容

今回の放送では弘前市町会連合会青少年育成委員会の委員長としてご活躍されている川越俊昭さんをゲストにお招きしました。川越さんはこの日、青少年育成委員会の主な活動や今後の展望、子ども会に対する思いなどについてお話をしてくださいました。

◆ 青少年育成委員会とは？

青少年育成委員会は、市内26地区それぞれで子ども会の世話をしている代表26名で組織されており、子ども会を通じた子どもたちの成長と地域の発展のために活動しています。なんと、2021年で50周年を迎えた歴史ある組織です。ちなみに、川越さんは長年委員として活動を続け、平成30年から委員長となり活躍されています。

委員会では、委員対象の研修会を開催しているほか、子どもたちへは夏はドッチボールやドッチビーなどのスポーツ大会、冬は「親切カルタ大会」などの各種イベントを開催しています。「親切カルタ」は親切に関する標語を子どもたちから募集し、それをカルタにしたものです。カルタの絵も子どもたちが描かれるなど、すべて地域のこどもの手によって作られたものです。

スポーツ大会については、今年「ボッチャ」の道具を購入したとのことで、令和4年度以降はボッチャ大会の開催を目指しています。ボッチャは東京2020パラリンピックの正式種目にもなった競技で、小さい子や老人、障がいを持った方などみんなが平等に楽しめるスポーツです。川越さんは「ボッチャを通じていろいろな人が楽しく交流できれば嬉しい。」と期待していました。

◆ 子ども会への参加を通じた社会教育の推進

川越さんは「少子化、IT技術の発達などによって子どもたちが集まって遊ぶという機会がとて減っている。オンラインは便利ではあるけれども、やはり皆が集まって触れ合うことも大切。学年や学区を超えた子どもたちが集まり、遊ぶことでコミュニケーション能力など将来社会に出たあとも役に立つ、知識、経験を得ることができると思う。これからも地域の宝である子どもたちのために、遊びを通じた成長の場を提供していきたい。」と熱く語ってくれました！